



寄せられた意見

No. 84-1

受付日	H17. 12. 18	年齢		居住 市町村名	下川町
件名					
平成17年12月18日					
天塩川流域委員会 御中					
サンルダム建設と町の活性化を図る会 会長 					
<p>「サンルダム建設と町の活性化を図る会」は、平成11年、サンルダム建設を促進することにより、地域の経済振興と新しいまちづくりに寄与する目的で、下川町内の全産業団体が協賛・参加し、設立された会です。今般は、天塩川流域委員会に対しまして、当会のこれまでの活動をご理解頂き、今後の天塩川水系河川整備計画のご検討の一助として頂きたく、ご投稿申し上げます。</p>					
<p>1. サンルダム建設やその周辺活用の検討</p> <p>会が発足した平成11年当時から、サンルダムやその周辺活用の検討を始めました。会を構成する各団体代表者、下川町役場、サンルダム建設事業所の参加を得て、アイデアを語る集いから初め、下川の魅力・潜在性・可能性を議論し、当会のサンルダム周辺整備検討会議の議論を経て、平成14年12月「サンルダム建設に伴う周辺整備提案書」（サンルダム建設事業所・下川町に対し提案）として結実致しました。</p> <p>「サンルダム建設に伴う周辺整備提案書」では、町民の参加により、町民が盛り上げる「サンルダムエコパーク構想」を提案いたしました。サンルダムエコパーク構想は、サンル地区の豊かな自然を背景とした様々な資源を活用しながら、環境の保全・循環型の町づくりを提案しております。環境教育・環境芸術・環境文化・環境のまちづくりをコンセプトに、構想のコンテンツ（個別の具体事業）の提案も行っております。</p> <p>その後、この提案をきっかけに、下川町長の諮問機関であります「サンルダム周辺整備計画審議会」が、平成15年7月「サンルダム周辺整備計画」を答申するに至っております。さらに、現在でも、下川町、サンルダム建設事業所、当会が参加した「サンルダム周辺整備検討会」で、まちづくりの具体化に向けた検討を進めているところあります。</p>					
<p>2. 湖岸緑化活動への参加</p> <p>当会では、下川町が将来、夢のある町となるためには、森林と湖が最も重要な要素であると考えており、サンルダム建設事業所が平成12年から開催している郷土の森づくり（湖岸緑化の取り組み）に共感し、毎年、多くの会員が積極的に参加しているところです。</p> <p>また、下川町が進めている「21世紀森呼吸の森林」整備のために開催される植樹会にも同様に積極的な取り組みをしております。このように、当会では下川町の森林づくり・環境づくりに少なからず協力していると自負しているものであります。</p>					

※  箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています

寄せられた意見

No. 84-2

受付日	H17. 12. 18	年齢		居住 市町村名	下川町
件名					
<p>3. 現地調査</p> <p>当会は、ダム計画について良く理解した上で、町の活性化を図ることとしており、ダム計画の勉強会、ダム工事現場の調査、既設ダムの見学会、周辺山林踏査を行ってきております。</p> <p>4. 町民大会の実施</p> <p>当会は、森林と湖の町が早期に実現することを願って、平成15年から毎年町民大会を実施しております。</p> <p>人口4,100人の下川町民に広く参加を呼びかけた結果、平成15年には350名、平成16年には380名、今年（平成17年）は500名の参加を得ました。</p> <p>5. 天塩川流域委員会への期待</p> <p>当会では、平成15年5月から開催されている天塩川流域委員会へ傍聴者として参加し、天塩川水系河川整備計画が策定される過程を学ばせて頂いております。また、今年（平成17年）1月に流域委員会主催で開催された「意見聴取会」では、当会の会長である私■■■■が、ダム建設と町の活性化に対する思いを陳述させて頂きました。今後も当会として、流域委員会の参加を続け、天塩川水系河川整備計画が適切に策定されていく様を確認していく方針です。</p> <p>6. 他団体との連携</p> <p>サンルダムによって最も恩恵を受ける名寄市で、今年（平成17年）11月末「サンルダムと地域を活かす会」が発足したことを受け、これまで当会で培ってきた実績と経験・知識をお互いに共有していきたいと考えております。また、当会は名寄市側の考え方を学び、下川町だけでなく周辺地域がお互いに発展できるよう連携を進めていきたいと考えております。</p>					

※ ~~■■■■~~ 箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています